研究主題

**未来を拓く国語教育の創造**

―主体的・対話的で深い学びが育つ単元づくり―

話すこと・聞くこと部会　研究主題

**主体的に話し合い、自己充実を目指す児童を育成する単元づくり**

**第６学年国語科学習指導案**

単元名

**「より良い公園づくりについて考えよう」**

―それぞれの立場から関係付けて話し合い、考えをまとめよう―

**１　単元の目標**

○それぞれの立場から関係付けて検討し、より良い公園づくりについて考えを広げたり、まとめたりすることができる。

**２　単元の評価規準と学習活動に即した具体的な評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ア 知識・技能 | イ 思考・判断・表現 | ウ 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○様々な人の立場や願いと公園の役割との関係付けの仕方を理解して使っている。 | ○目的や意図に応じて、改善点を考えるための材料を集めている。  ◯関係付けて話し合っている。  ○話し合うことを通して、考えを広げたりまとめたりしている。 | ○話し合い方や公園の改善点を話し合うという話題について関心をもとうとしている。 |
| 学習活動に即した具体的な評価規準 | ①どのような人が利用するのか、何のためにあるのかに基づいて公園にある施設を分類している。 | ①よりよい公園づくりを目指して、今ある公園の状況など改善点を考えるための材料を集めている。  ②公園を利用する様々な人の立場や願いと公園にある施設の役割を関係付けながら理由を述べて話し合っている。  ②いろいろな人の立場から検討し、公園の改善点について考えを広げたり、まとめたりしている。 | ①これまでの話し合い方を振り返り課題を設定したり、公園づくりについて話し合って提案するということに関心をもったりしている。 |

**３　単元構想**

**(1)　児童について（児童観）**

　６年生の児童は、社会科で「生活と政治の関わり」について学習している。国や地方公共団体の働きに関心をもち、国民生活には国や地方公共団体の政治が反映していることを考えようとしている。また、総合的な学習の時間においても、身近な地域をより良くしていくために自分たちができることを検討して発信していく活動を積み重ねてきている。これまでの話合い活動では、目的や条件を意識して意見を比べながら話し合ったり、結論を合意形成したりしてきた。これらの学習経験を踏まえ、さらに思考の整理・深化を図っていきたい。このような実態から、本分科会では、互いの考えを尊重しながら話し合い、考えを広げたり深めたりできる力を育むことが必要であると考えた。

**(2)　話題について（学習材観）**

　　社会科や総合的な学習の時間を通して児童は自分たちの生活と政治が関わっていることや自分たちの地域をより良くしていくことについて関心をもっている。そこで、児童が一番身近に利用し、みんなの願いをかなえる公共施設として公園の存在に気付かせる。そして、話題設定後、実際に公園に取材に行ったり、詳しい人に話を聞いたりしたいという児童の意欲を喚起できる。誰もが利用経験のある公園について自分の経験と新たな視点（様々な人の立場や願いと公園の役割）に基づいて考えを形成したり、グループでより良いものを検討したりするのに適している話題であると考えた。

また、身近に利用している小・中規模の公園を想定して改善点を考えていくので、全てのアイディアを反映するのは困難である。そこで、話合い活動を通して様々な人の立場や願いと公園の役割を満たす改善点を児童が検討していく必然性が生まれると考えた。

さらに、自分たちがまとめた公園の改善点を区役所に提案することで本分科会の目指す「自己充実」につながるのではないかと考えた。

**(3)　単元について（単元観）**

　　　本単元では、社会科「わたしたちの生活と政治」の学習を終え、自分たちの声を生かしていけることに気付き、地域の公園をより良くする学習活動を設定する。地域の公園が今のままでよいのかという点に注目し、「より良い公園づくりを考える」という課題設定をする。自分たちがどのように公園を利用しているか振り返り、よいところや改善点について出し合い、学習計画を立てていく。また、児童が自分たちの話し合い方について振り返る活動を設定する。今までの話合いの学習を想起し、できるようになったことや困っている点を確認し合い、話し合い方についての課題をもつ。

次時では、区役所の方の話を聞き、公園にはどのような役割があるのかを知る。そして、地域の公園にはどのような利用者がいてどのような願いをもっているのか、地域の公園にある施設はどのような役割を果たしているのかという視点で公園を改めて見て、情報収集する。

さらに、集めてきた情報について役割ごとに分類・整理する。情報を共有し分類・整理した上で、公園の改善したいところについて自分の考えをもつ。様々な人の立場や願いがあり、公園には役割があることから、改善点は膨らむ。しかし、公園の規模を理解しているからこそ、より良いもの・必要性のあるものを選ばなくてはならない。考えを形成していく過程で「様々な人の立場や願い」「公園の役割」という基準に照らして話し合い、自分の考えを広げたり深めたりできると考えた。

**４　研究主題に迫るために**

**高学年分科会重点**

**互いの考えを尊重し合いながら話し合い、考えを広げたり深めたりする**

主体的な学び

　・話し合い方について課題意識をもち、地域の公園をより良くするという話題に関心をもって学習に取り組んでいる。

　・見通しをもって主体的に話し合っている。

対話的な学び

　・公園の改善点について話し合い、考えをまとめたり広げたりしている。

深い学び

　・公園の改善点について、様々な人の立場や願い、公園の役割を関連付けて話し合えたか振り返っている。

これらの実現のために、以下のような工夫をする。

**(1) 単元づくりの工夫と柔軟な学習過程**

①　より良い公園づくりについて考えるという話題

　　話し合い方について課題をもった後、「より良い公園づくりを考える」という話題に着目させる。誰もが利用している地域の公園を想定して改善点を提案していくので、児童が主体的に学習を進めていけると考えた。

　　また、学習を展開していく中で、様々な人の立場や願い・公園の役割などの視点が増えていく。改善点が広がっていく中で、条件に合ったものを選んでいかなくてはならないことも本単元の特徴である。

②　教科等横断的な単元づくり

　　本単元は、国語科と社会科と教科等横断的な学習を図っている。新学習指導要領では、学習効果の最大化を図るカリキュラムマネジメントに努めることが記述されている。社会科「生活と政治」と国語科「それぞれの立場から関係付けて話し合い、考えをまとめる」学習活動を通して、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力の育成を目指してしていく。

③　資質能力の関連付けを図り、単元の中で育成できるように学習活動を設定

学習活動・国語

学習活動・社会

第４時

○公園を利用する様々な人の立場や願いと公園の役割を**関係付けながら理由を述べて話し合う。**

○「私たちの生活と政治」の学習から、自分たちの声を生かせることを知る。

第１時

○話し合い方について**課題をもつ。**

〇**学習計画を立てる。**

第２時

○公園の役割を知り、公園について**情報を収集する。**

第３時

○公園の役割に基づいて集めた**情報を分類する。**

〇話合いを振り返る

〇提案する。

資質能力

内容の検討

【思考力・判断力・表現力等】

○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりする。

情報の整理

【知識・技能】

○情報と情報との関係付けの仕方を理解して使う。

**(2) 児童の学びの向上につながる評価と指導**

　①　公園の図面と付箋を用いて視覚化しながら話し合う。

　　　児童は、集めてきた情報を視点ごとに分類・整理する。その際、児童は公園の図面を見ながら「防災」「自然」「遊び」「憩い」「運動」「集い」という公園にある施設の役割を理解しながら整理したり、改善点について自分の考えをもったりする。また、本時では、たくさんの人の立場の願いを満たす施設に気付いたり、「増やす」「減らす」「なくす」「移動させる」などの改善方法を示したりするなど、図と理由を書いた付箋を用いることで分かりやすく説明できると考えた。

②　「より良い公園」について基準を明確にする。

　　　児童は、公園の規模を考慮したときに、改善点についてより良いものを選んでいく必要がある。そこで、「たくさんの人の立場や願い」と「公園の役割」を満たすという基準に立ち返らせ、地域の公園に必要な改善点を選んでいくようにする。

③ 話合いの例を提示してポイントを確認させる。

　　　本時の話合いのポイントは「様々な人の立場や願い」「公園の役割」を関係付けて、「どのように改善するのか」である。本時の導入時にポイントに沿って改善点を述べている話合いの例を提示し、自分たちの課題を解決できる話し合い方について確認をする。

〈話合いの例〉

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A | まず、みんなが改善点として挙げていた遊具について考えていこうか。その次に、周りの木のことについて話し合うのはどうかな。 | 話合いの見通しをもつ。 |
|  | いいね。 |  |
| B | わたしは、空いている場所に新しいジャングルジムを置いたらいいと思う。遊具がたくさんあるのは楽しいし、体が動かせていいんじゃないかな。 | ある立場から根拠や理由を述べる |
| C | たしかに、遊具がたくさんあるとうれしいけれど、  おにごっことか走る遊びをしたい人もいるんじゃない？  新たにジャングルジムを置くと、走れなくなってしまうよね。 | 別の立場（願い）から |
| D | 公園は、地震が起きた時、避難場所になるって言っていたから、人が集まれる場所も必要だよね。 | 公園の別の役割から |
| A | いろいろな立場や役割から考えると、ジャングルジムを置くのはやめるでいいかな。 | 複数の立場や役割から意見をまとめる |

④ 動画で話合いを振り返らせる。

　　　各グループが話合いをしている最中の動画を振り返り、よい話し合い方ができているか互いに確認できるようにする。

**５　単元計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程  (次) | 時 | 学習活動 | 指導事項 | ◆評価規準　★評価方法  〇指導上の留意点 |
| １ | １ | ○これまでの話し合い方について振り返り、よいところや困っていることを出し合い、課題をもつ。  　・みんなが納得できように意見をまとめるのが難しい。  　・時間内に話合いをまとめることが難しい。  よりよい公園づくりについて話し合い、提案しよう。  ○公園をどのように利用しているかを振り返り、現在の公園のよいところや改善したいところを出し合う。  ・ボールで遊べる場所があるといいな。  ・大きな遊具があると楽しそう。  ○学習計画を立てる。 | ・学習の目的を知り、関心をもつこと。 | ○自分たちのこれまでの話し合いの様子を動画で視聴したり、これまでの経験を出し合ったりして、課題を見付けられるようにする。  ○児童の立場からの思いや願いを出し合えるようにする。  ○自分が改善案を考えていきたい公園ごとにグルーピングをする。  ◆ウ―①  ★観察、学習シート |
| ２ | ○区役所の方の話を動画で視聴する。  ・公園は、子供だけでなくお年寄りや地域で働く人も使っているんだね。  　・避難場所としての役割もあるんだね。  ○実際に公園に行き、公園について情報を収集する。  ・どのような人が何のために利用しているかな。  ・どのような設備が何のためにあるのかな。 | ・目的に応じて、今ある公園の状況など改善点を考えるための材料を集めること。 | ○公園はいろいろな役割をもつことに触れながら話してもらうことで、公園の役割や様々な人が利用していることに気付けるようにする。  ○自分の目で見るだけでなく、人に聞いたり、他の公園についても調べたりして、公園づくりについて考える際の材料を集められるようにする。  ◆イ―①  ★観察、学習カード |
| 公園について改めて考える時間を設け、各自で情報を収集する。 | | | |
| ３ | ○グループで収集した情報を観点別に分類・整理する。  〈公園の役割〉  ・遊び　・憩い  ・運動　・防災  ・自然　・集い  ○公園のどこをどのように改善していけばよいか自分の考えをもつ。  ・生き物が住むビオトープを作りたいな。みんなで生き物の様子を見られたら楽しいだろうな。  ・ベンチを置きたいな。小さい子を連れたお母さんたちもぼくたちもほっとできるところがあるといいな。 | ・観点に基づいて情報を分類し整理すること。 | ○前時の区役所の方の話から、公園の役割について観点を示しておき、その観点に基づいて分類・整理できるようにする。  ◆ア―①  ★観察、学習シート  ○公園の地図に改善したいところを付箋ではっていく。理由を別の付箋に書くようにする。 |
| ４　（本時） | ◯話合いのポイントを考える。  ○公園の改善したいところをグループで話し合う。  ◯途中、グループごとに話合いを振り返る。その後、話合いの続きを行う。  ◯学習の振り返りを行う。 | ・公園を利用する様々な人の立場や願い、公園の役割を関係付けながら理由を述べて話し合うこと。 | ○話合いの例を教師が提示することで、話合いのポイントを考えられるようにする。  ○各グループにタブレットPCを用意し、ポイントを生かして話し合えているか録画したものを見て確認できるようにする。  ◆イ―②  ★観察、学習カード  ◯「話し合い方について」「話し合った内容について」の両方から振り返りを行い、学習シートに書く。 |
| ５ | ○グループで話し合った内容を学級で共有する。  ○自分たちの提案をまとめる。  ◯話し合い方について振り返る。 | ・様々な視点から検討し、公園の改善点について考えをまとめたり、広げたりすること。 | ◯改善点が書き込まれた公園図を見合い、学級内で共有できるようにする。  ◆イ―③  ★観察、学習カード |
| 区役所の方にグループで考えた各公園の改善案を提案する。 | | | | |

**６　本時の学習**

（１）本時のねらい

公園を利用する様々な人の立場や願い、公園の役割を関係付けながら理由を述べて改善点を話し合うことができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導事項 | ◆評価規準　★評価方法  ○指導上の留意点 |
| １　話し合う内容を確認し、どのようなことを意識して話し合えばよいかを考え、話合いのポイントを設定する。  ・様々な人の立場や願い、公園の役割を考えながらどのような公園にしていきたいかを話し合っていこう。  グループで公園の改善点を話し合い、まとめよう。  ２　グループごとに話合いのポイントを意識しながら話し合う。  ３　話合いのポイントを踏まえて話し合えているか、途中グループで振り返る。  ４　振り返りをもとに話合いを再開する。  ５　学習の振り返りを行う。  ・自分たちとお年寄りの立場の両方を考えて改善点を話し合えたよ。  ・グループでアイディアを合わせると、もっとみんなが楽しめそうな公園になった。 | ・公園を利用する様々な人の立場や願い、公園の役割を関係付けながら理由を述べて話し合うこと。 | ○話合いの例を教師が提示することで、話合いのポイントを考えられるようにする。  ○資料の活用の仕方を確認する。  ・公園の地図にどのように改善するのかを付箋紙に書いてはっていく。  ・別の付箋紙に理由を書き入れてはっていく。  ◯各自、改善点の優先順位をつけておく。まずそれぞれが考えを２つずつ出し、その中から話題を決めて話し合っていく。その後、他の考えについても出し合い、話し合う。  ○各グループにタブレットPCを用意し、話合いの様子を録画する。  ○話合いの様子をタブレットPCで見ることで、話合いのポイントを生かして話し合えているか、各グループで確認できるようにする。  ◆公園を利用する様々な人の立場や願い、公園の役割を関係付けながら理由を述べて改善点を話し合っている。  ★観察、学習カード  ○概ね満足できる児童への手だて  様々な人の立場や願い、公園の役割を関連付けながら発言をまとめたり、自分の考えに生かしたりできるように助言する。  ○概ね満足できる状況を目指す児童への手だて  掲示物を示したり、様々な人の立場や願い、公園にある施設の役割を具体的に考えるよう助言したりする。  ◯「話し合い方について」「話し合った内容について」の両方から振り返りを行い、学習シートに書く。 |